

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	評価日	平成 29 年 1 月 25 日	評価番号	A-233 マ						
評価技術名称 部分開口 構造用合板補強工法 大壁入隅「上下あき 対象壁負け」					連絡先 http://www. 〒 電話 Fax									
概要	技術概要 大壁仕様、入隅部の、床天井間のみで補強可能な工法。													
	技術の特徴 ・ 天井・床を解体することなく補強が可能。 ・ 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能。 ・ 一般流通品なので取り扱いが容易。						コスト サンプル構面 — 設計見積り例 —							
	公的機関による技術評価・性能証明 機関名 ・ 評価番号 ・ 評価取得日 ・				実験実施機関 名古屋工業大学 その他									
	適用範囲 構法 木造在来軸組工法 規模 3 階建て以下 基礎、地盤 特になし 適用部位 内外壁 その他 特になし				写真・図 									
仕様	主要構成部材の仕様 構造用合板 厚 12mm 以上 裏棧なし 釘 N50, CN50 @100 以下													
	耐震性能 評価仕様: 直貼大壁仕様 裏棧なし <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>壁基準耐力</th> <th>壁基準剛性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>裏棧なし</td> <td>2.6kN/m</td> <td>365kN/rad./m</td> </tr> </tbody> </table>									壁基準耐力	壁基準剛性	裏棧なし	2.6kN/m	365kN/rad./m
		壁基準耐力	壁基準剛性											
	裏棧なし	2.6kN/m	365kN/rad./m											
	裏棧なし: 一般的な構造用合板の低減係数 $\alpha = 0.5$ 壁基準耐力 $5.2 \times 0.5 = 2.6$													
設計方法 ①柱接合部による低減 取付部分が健全であること ②劣化による低減 取付部分が健全であること														
施工者指定 特になし														
その他														